

## 第5回おやしサミット作戦会議

日 時：2013年6月29日（土）18：00～20：30

場 所：青葉区中央市民センター第4会議室

参加者：稲井（千葉、玉上、佐藤、杉山）、中新田（高橋）、八乙女（佐々木）、  
八木山南（佐々木）、鹿島台（照井）、南中山（高橋）、上杉（坂口）、  
寺岡（善波、原田、小幡、伊藤、西岡、福地）、富沢（霜山）、父子（村上）、  
県（吉田、元木）、NW（石垣）

議 事：以下の通り

◎善波委員長 『『本気』入れていきたい』『今日の会議で、各種チーフを決めたい』



### 【後援依頼】

- 県等宛の後援依頼文書
- 県P連、県内各自治体P連にも協力依頼済
- 依頼先としてマスコミ（新聞、テレビ、ラジオ）。ミニコミ誌にもアプローチ

### 【会場】

- 小学校から校庭利用承諾。雨天時には体育館も  
⇒最初から体育館も会場に
- 旭丘市民センターは当日、市民センターまつり ⇒何らかの形でコラボも検討
- 青年文化センターはエッグホールも確保  
⇒当日は9時からしか入館できないが、前日の仕込みは対応可能

### 【オープニング～1分間スピーチ】

（オープニングアトラクション）

- オープニングは歌か踊り。韓国コーラスは実現困難
- ぜひとも、すずめ踊りで。⇒上杉と八木山南 あわせて5分程度
- 開会宣言（善波委員長）～すずめ踊り～1分間スピーチの流れで。

- ⇒10時スタートとなれば、スピーチは遅くとも10:10スタート
- オープニングでは来賓挨拶は割愛。スピーチの際に、審査員紹介
  - ⇒審査委員にも1分間で挨拶してもらう？
  - ⇒審査員講評まではいてもらわないと(11:30頃)
- 来賓は4名か？(県、市、県P連、市P連)
  - ⇒県・市の男女共同参画課はどうする？



(スピーチ)

- 参加団体によって時間構成変わる
- 当日にスピーチする人数が確定すると思っていて間違いないか
- 司会はプロのアナウンサーなので、時間配分は彼の力量に任せるしかない
- おやじの会の「本気」を見せてもらう。手法は自由
- 寺岡おやじは「屋台」にも人数を割かれることから、他おやじの協力不可欠
  - ⇒上杉チャンネット
- ちゃんと方向性を示しておかないと、単なる「自己紹介」で終わりかねない
  - ⇒事前に何らかの「誘導」が必要ではないか
  - ⇒県内スタッフだけでもリハーサルを行なってはどうか(NW会議等で)
  - ⇒サンプルをYoutubeなど動画で紹介するのはどうか
- あくまでスピーチ。PCで動画など使うのは…。小道具は何使ってもいいけど…
- 1分間で何を話すか、案外難しい。だからこそ、本気で考えてもらうことが狙い
- 定例化されていた「基調講演」に代わるもの。それなりのインパクトを与えたい
- 「賞」狙いのパフォーマンスがあってもいい
- 11:30結果発表(審査員講評)、表彰式はサミットエンディングにて

【おやじ屋台】<主担当：寺岡おやじの会>

- 屋台に全部頼るのは難しい
  - ⇒参加表明してくれた人たちの分はあらかじめ食事(おにぎり等)を準備しては？
- 寺岡が全体を仕切る。後日、MLにて屋台参加表明のメールを流す。何を出店するのか

希望を取り、その結果を次回会議で紹介

⇒八乙女、南中山は人を出せる（人だけ？メニューは？）

○屋台の準備費用（仕込み代）はどこから捻出？

⇒県のお金は使えない。広告代か

⇒おにぎり代は参加者から徴収するから、後払いか

○屋台レイアウト、保健所申請等全体に関わることは寺岡で対応。個別屋台の仕入れ、スタッフ確保は各おやじの会にお願いしたい

○経費と売上はプラマイゼロを目指す。

### 【分科会】

○会場の追加と変更

・青年文化センターエッグホールと旭丘小学校体育館

・市民センターは難しい（市民センター祭り）

○稲井からの提案「プレサミットで計画していたものを分科会で…」（別添）

・震災体験「おやじの連携」と一緒に

・これに伴って、プレサミットでのバスツアー再考

⇒プレサミット参加人数が読めないが、事前にバスを確保しておく必要有

○各分科会ともに、会場スペース、参加人数が分からないため具体的にイメージできず

○あらかじめテーマを伝えて、参加希望をとり調整する必要あり

○分科会は以下の通り（ ）内は担当者

①震災体験からの出発1～父子家庭（村上）

②震災体験からの出発2～おやじの連携・災害対応（石垣、千葉）

③アボジとオヤジ（石垣、千）

④おやじのジレンマ（坂口）

⑤地域とともに（杉山）

⑥幼児向けのアミューズメント（高橋、玉上）——旭丘小

⑦好日縁日（照井、小幡）——旭丘小

○ある意味、屋台だって「分科会」

○屋台（旭丘小）から各分科会へどうやって移動させるかが課題

⇒分科会毎に食事とらせる？

⇒屋台や⑤⑥に人が集まるのは確実

⇒屋台と分科会の時間をずらす？ ⇒分科会の時間帯を14:00～15:30に変更

○参加登録（どの分科会に参加するか等）をいつにするか？

⇒②ではアンケートも行うため、早めにした

⇒本番チラシ（裏面に参加登録）の発行タイミングと絡む

○本番チラシ向けに、各分科会の概要が必要（100字以内で紹介）

⇒スペースの都合上、100字で紹介するのは不可能（タイトルのみの表記か？）

#### 【本番チラシ、参加エントリー】

○開催日から逆算して、一か月前には全体の参加人数、分科会出席者が確定していることが望ましい

⇒分科会間の調整を考慮すれば、8月20日頃が申込締切日（早すぎないか？）

⇒8月上旬には募集案内を告知する必要有（本番チラシ発送）

○参加の意思表示を示してもらいたいのは、次の項目か？

「1分間スピーチに参加するか否か」「参加したい分科会（第○希望まで）」

「昼食（おにぎり等）の有無」「大懇親会の出欠」「プレサミットの出欠」

#### 【大会パンフレット】

○富沢（霜山）、八木山南（佐々木）より報告

・A4サイズ28or32ページで構成

・30ページ、300部作成：オールカラーで174,000円。モノクロで96,000円（萩の里福祉工場）

・原稿データ校了から4日後（平日）には印刷完了・納品

⇒9/25（水）校了であれば10/1（火）納品

⇒9/30（月）の場合は10/4（金）納品

○広告料金は以下の通り

・全1頁：2万円、半頁：1万円、1/4頁：5千円、1/8頁：3千円

○400部は印刷したい（300部当日配布＋関係機関配布用）

・サミット終了後、pdf化

○8月20日の参加申込終了から約一か月の間で各企画を詰めて、パンフレットの原稿を固めること

#### 【スタッフグッズ】

○酒屋さんが纏ってる「前掛け」

・ロゴは「親父、本気」か

○富沢・霜山氏が知己の建築家に相談してみるとのこと

#### 【その他】

次回は8月4日（日）13時から。会場は追って連絡

7月14日（日）夕方、泉中央界限でオープニング～1分間スピーチの打ち合わせ

以上